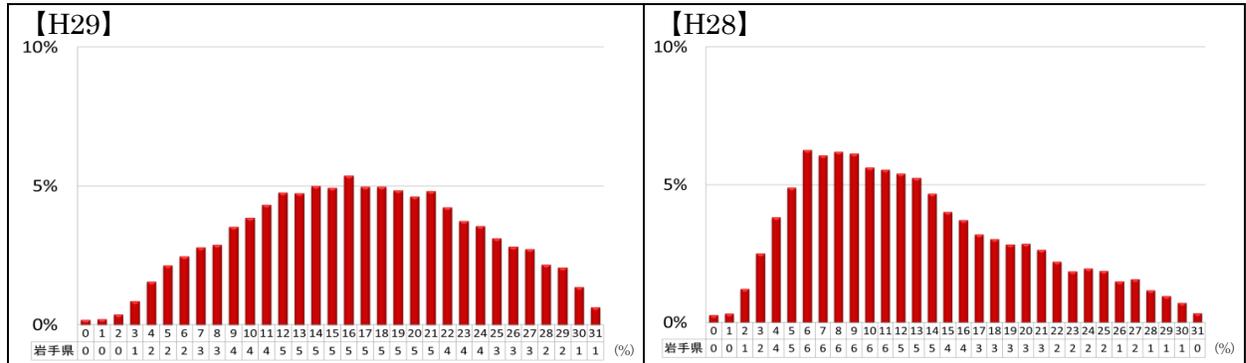


授業改善の手引 中学校第 2 学年英語

1 調査結果

(1) 分布状況



- 問題数は昨年度と同様の 31 問ですが、正答数の最頻値が昨年より 8 問増加して 16 問となっています。平均正答数も同様に 16 問でヒストグラムの山がほぼ中央に位置しています。

(正答数の最頻値：該当する生徒数の最も多い正答数)

(2) 領域等の正答率

領 域 等	正答率			観 点 等	正答率		
	() は H28,	() は H27			() は H28,	() は H27	
聞くこと (5 問)	79%	(70%)	(71%)	外国語理解の能力 (18 問)	59%	(51%)	(53%)
読むこと (13 問)	51%	(44%)	(44%)	外国語表現の能力 (4 問)	27%	(21%)	(29%)
書くこと (13 問)	46%	(29%)	(41%)	言語に対する知識・理解 (9 問)	55%	(33%)	(46%)
				活用 (3 問)	41%	(22%)	(40%)

(3) 結果概要

- ◇ 「聞くこと」「読むこと」の領域別正答率に見る状況

「聞き取り問題」の読み上げ文が長くなり、また調査全体を通した英語の分量も昨年度並みでしたが、この 2 つの領域の正答率は昨年度よりも良好な結果となりました。「聞くこと」79%、「読むこと」51%。生徒質問紙において「まとまりのある英文を聞いたり読んだりして文章全体の概要や要点を捉える活動をしている」という肯定的な回答をした生徒の割合も 85%と、ある程度長さのある英文をまとめて聞いたり読んだりすることを、授業で扱うことが意識されてきていると言えます。

- 「書くこと」の領域別正答率に見る状況

相手に注意する、ものの所有者をたずねるなど、場面や状況に応じた表現を書く問題や、「実際の言語の使用場面や働きを理解し、文脈に沿った内容を書くこと」に依然として課題が見られます。岩手の有名なもの(こと)について英文を書くといった問題については、「書くこと」の領域の正答率が 46%と低くなっています。授業で学習した内容や表現を継続して取り扱い、生徒が既習表現を別の場面で活用する機会を設定することが必要です。

(4) 経年比較問題の状況 (○改善, ◇改善傾向, ●課題が継続, ▲は前回調査との比較マウスを表す)

小問 No	正答率	比較	小問 No	正答率	比較	小問 No	正答率	比較
○ 4	61	30	○ 18	59	10	◇ 30	39	16
○ 8	69	4	◇ 28	37	12	● 31	22	5

- 小問 4 は、昨年度の studied から規則動詞 played を書かせる問題としたところ、30 ポイント上昇し、61% となりました。
- 小問 8 は、正答率が 69%と、まとまった長い英文の聞き取りについての成果が見られます。
- ◇ 小問 28 は、昨年度より 12 ポイント向上したものの、禁止の表現を書くことに依然として課題が見られます。
- 小問 31 は、昨年度と同様に無解答率が 30%を超えています。読んだことについてメモを取る、感想や理由を書く、自分の考えや気持ちを書く等、毎日の授業の中でも実際のやり取りを意識した表現活動の指導が必要です。

(5) 小問別正答率

問題番号				調査問題のねらい	学習指導要領との関連	主な観点	備考	正答率	選 択 No. (%)						
大問	中問	小問	通し番号						1	2	3	4	5	6	0
									選択	選択	選択	選択	誤答	正答	無解答
1	(1)		1	会話(時刻をたずねる場面)の流れを理解し,正しい表現を選択できる。	ア(ウ)聞く	理		90	2	6	90	2	0		0
	(2)		2	会話(場所をたずねる場面)の流れを理解し,正しい表現を選択できる。	ア(ウ)聞く	理		77	77	8	10	4	0		0
	(3)		3	会話(許可を求める場面)の流れを理解し,正しい表現を選択できる。	ア(ウ)聞く	理		82	5	9	3	82	0		0
2	(1)		4	キーワード(played)を聞き,正しく書くことができる。	エ(ア)書く	知	経年	61					37	61	2
	(2)		5	キーワード(happy)を聞き,正しく書くことができる。	エ(ア)書く	知		82					15	82	3
	(3)		6	キーワード(father)を聞き,正しく書くことができる。	エ(ア)書く	知		76					17	76	7
3	(1)		7	キーワード(ふつう, 自転車で)を聞き取り,正しい答えを選択できる。	ア(イ)聞く	理		76	3	15	76	5	0		0
	(2)		8	キーワード(たくさんの人々が映画を見ることを願っている)を聞き取り,正しい答えを選択できる。	ア(イ)聞く	理	経年	69	13	9	9	69	0		1
4	(1)		9	言語の使用場面・働き(天候をたずねる表現)を理解し,正しい会話文を完成させることができる。	ウ(ウ)読む	理		78	8	5	78	8	0		1
	(2)		10	言語の使用場面・働き(「~しなければならない」の表現)を理解し,正しい会話文を完成させることができる。	ウ(ウ)読む	理		72	72	10	11	6	0		1
	(3)		11	言語の使用場面・働き(買い物での表現)を理解し,正しい会話文を完成させることができる。	ウ(ウ)読む	理		83	7	83	4	5	0		1
5	(1)		12	対話とグラフの内容を正確に読み取り,空所に入る適切な数字を選択できる。	ウ(ウ)読む	理		24	19	24	8	47	1		1
	(2)		13	対話の前後のやりとりから I think it's a problem. が表す内容を理解できる。	ウ(ウ)読む	理		55					22	55	22
	(3)		14	対話とグラフの内容を正確に読み取り,正しい答えを選択できる。	ウ(ウ)読む	理		37	22	25	14	37	1		1
6	(1)		15	対話の流れを読み取り,適切な表現を選択できる。	ウ(ウ)読む	理		51	22	51	15	10	0		2
	(2)		16	対話の内容を読み取り,正しい答えを選択できる。	ウ(ウ)読む	理		57	9	11	57	22	0		2
	(3)		17	対話の内容を理解し,その概要を日記の形式で完成させることができる。	ウ(ウ)読む	理	活用	64	13	9	12	64	0		2
7	(1)		18	長文の概要・要点を理解し,正しい答えを選択できる。	ウ(ウ)読む	理	経年	59	15	18	59	6	0		2
	(2)	①	19	長文の内容を読み取り,タクとケンジが一緒にすることを正しく答えることができる。	ウ(ウ)読む	理		34	34	29	13	21	0		3
		②	20	長文の内容を読み取り,タクが現在していることを正しく答えることができる。	ウ(ウ)読む	理		43	15	43	15	24	0		4
	(3)		21	長文の流れを理解し,展開を正しい順番に並べることができる。	ウ(ウ)読む	理		14					82	14	4
8	(1)		22	場面と文法(have to を使った疑問文)を理解し,正しい語順で書くことができる。	エ(イ)書く	知		73					23	73	4
	(2)		23	場面と文法(期間をたずねる疑問文)を理解し,正しい語順で書くことができる。	エ(イ)書く	知		44					52	44	4
	(3)		24	場面と文法(there is を使った文)を理解し,正しい語順で書くことができる。	エ(イ)書く	知		61					33	61	5
9	(1)		25	listen to の listen を正しく書くことができる。	エ(イ)書く	知		45					45	45	10
	(2)		26	Shall we go together? の Shall を正しく書くことができる。	エ(イ)書く	知		37					48	37	16
	(3)		27	前置詞 after を正しく書くことができる。	エ(イ)書く	知		14					59	14	27
10	(1)		28	言語の使用場面・働き(相手に注意する表現)を理解し,正しく書くことができる。	エ(イ)書く	表	経年	37					42	37	21
	(2)		29	言語の使用場面・働き(ものの所有者をたずねる表現)を理解し,正しく書くことができる。	エ(イ)書く	表		12					64	12	24
11	(1)		30	岩手の有名なもの(こと)について英文を書くことができる。	エ(エ)書く	表	経年活用	39					25	39	36
	(2)		31	岩手の有名なもの(こと)について英文を書くことができる。	エ(オ)書く	表	経年活用	22					31	22	47
全体正答率								54							

2 指導のポイント

(1) まとまった量の英文を読み、文章の構成や展開、全体的な概要を捉えるような活動を行いましょう。

ア 問題の概要

7 (2) 本文の内容に合うように、次の①、②の英文に続けるのに最も適切なものを、右の1～4の中から1つずつ選び、その番号を書きなさい。

① Taku and Kenji	1 often go fishing together.	2 29%
	2 stayed in Australia together.	3 13%
	3 are good classmates.	4 21%
	4 enjoyed scuba diving together.	

【反応率】 1 34% (正答)

イ 誤答分析

この問題では、本文の概要を把握し、タクとケンジの関係について適切な内容を表す英文となるよう選択肢を選ぶことが求められています。2 (29%), 4 (21%) を選択した生徒は、それぞれ **Australia, scuba diving** という、選択肢に含まれるキーワードのみに着目し、断片的な情報から判断したと思われる。まとまった量の英文を読む際に、文脈や前後関係を適切に捉えることができていないことが考えられます。

ウ 改善の視点

(7) 付けたい力を焦点化し、目的に応じた読み方で活動させる

「内容を大づかみする (概要把握)」「詳細の情報を読み取る (詳細理解)」「必要な情報を引き出す (情報検索)」など、「付けたい力」を焦点化し、目的に沿った活動や発問を工夫することが大切です。例えば、「必要な情報のみ検索する」読みの活動の際は、求めている情報以外の部分はあまり重視することなく活動を終えることも必要となります。

(4) 「わからない単語」の意味を類推しながら読む習慣を育てる

最初に新出語句を導入し、日本語訳の穴埋め問題を通して概要を把握させる指導だけでは、「単語の意味がすべて分からないと英文の概要や必要な情報が分からない」という「逐語的な読み方」につながりやすく、読む力を育成するには必ずしもよいとは言えません。ときには、新出語句のいくつかをあえて導入せず、文脈や前後関係から意味を類推させながら、英文を意味のかたまりとして捉えさせる指導も必要です。

授業アイデア例 1

【「概要把握」から「詳細理解」へ進むリーディングの授業展開例】

(教材例) Sunshine 2 PROGRAM 11・2 Yui – To Share Is to Live.

導入：ブレインストーミング

写真を見せながらオーラルイントロダクションで導入し、「岐阜県」「白川郷」などについて知っていることをグループで話し合わせ、本文のテーマやストーリー全体に関わる知識を引き出す。

概要把握 1：本文の聞き取り

本文を聞き、聞き取れた単語や表現をペアで共有し、大まかな内容を推測する。

段落ごとのタイトルを考えたり、それぞれの段落で武史が最も主張したい文を抜き出させたりする活動も有効ですよ。



概要把握 2：段落ごとの Q & A

“What are the people on the roof doing?” “Does Takeshi think teamwork is important?” の視点を与えて読ませ、それぞれの段落の概要を捉える。



1 段落目の中心文は *Yui, to share the work, is their way of life.* かしら。

詳細理解：詳細理解の確認

Q & A, True or False でさらに詳細を把握させる。

新出の *replace* の意味を事前に導入せず *They are replacing the thatched roof.* の文脈から類推させてもいいですね。



音読：意味内容を理解した上で表現を工夫

読後の活動：自分の体験と結び付ける工夫

“Team work is very important.” について、部活動や学校行事と関連させながら、自己表現をさせる。

(2) 文構造に対する「気付き」を大切にしましょう。

ア 問題の概要【経年比較・活用問題】

11 (2) ①の具体的な説明となるように、②に入る適切な英語を15語以上で書きなさい。

<p>【メール1】 Hi, Akira, How are you? I'm going to visit Iwate next year. Where should I visit? Please tell me about it. See you. Peter</p>	<p>【メール2】 Dear Peter, Thank you for your e-mail. I'm fine. I'll tell you about Iwate. When you come to Iwate, you can ① . ② I hope you'll like it. See you then. Akira</p>
---	--

〈正答例〉
There is a big festival in early August. It's Sansa Odori festival. You can see many drummers and dancers there. It is a good time. You'll enjoy the sights and the sounds on the street.

【正答率】 22%

〈誤答例〉

* If you visit Koiwai, there are a lot of cherry blossoms very beautiful.
 Koiwai is see cute animals.

* Sansa festival is we can enjoyed.
 We eat takoyaki and okonomiyaki.
 When you see Sansa is wonderful.

どちらも文構造の間違いですね。
 「小岩井ではかわいい動物を見られる」
 「さんさ祭りで私たちは楽しむことができる」などは、日本語の語順になっていますね。



基本的な文構造は耳で覚えたいもの。
 文単位のインプット量は十分ですか？



英文の語順や構成を日本語と比べて、生徒に気づかせていますか？

イ 誤答分析【無解答率 47%】

(7) 文構造の理解が不十分

おすすめの場所や事象の発想はあるものの、文構造が正しく表現することができていない解答が多く見られました。単文単位での文型や語順に関する規則が十分に理解されていないためであると考えられます。

(4) メールへの回答など目的のある英文を書く活動の不足

この問題では、「メール形式の文章から必要な情報を読み取ること」と「読み取ったことに対応して自分の考えを書くこと」が求められています。「岩手を訪れるので、どこを訪れるべきか教えてほしい」という書き手の意図を理解できず、内容面で不適切な解答が多く見られました。

また、英文を書くことに対する苦手意識、おすすめの場所の発想力や文章構成力の不足が、語数不足の解答や無解答につながったと考えられます。

ウ 改善の視点・・・単元のゴールに向かい、単元全体で「書く活動」をバランスよく設定

(7) 文構造に対する「気付き」を促す

文構造や文法について、教師が説明する前に、聞いたり話したりする活動を通して、関連する英文に触れさせ、言葉の使い方等に対して生徒の気付きを促すことも有用です。英語と日本語の違いなどに気付かせながら、主体的に学習する姿勢を育みたいものです。

(4) 日常的に書く活動を取り入れる

自分の考えや気持ちをペアやグループで伝え合う活動をした後、その内容をまとめるなど、日頃から書く活動を設定することが必要です。モデルとなる英文の一部を入れ替えたり、活用したりしながら書き方を学ばせた上で、その後自分の力で書くことができるようにするといった段階を踏むことが大切です。

(4) 様々な場面設定で、コミュニケーションの手段としての「書く活動」を設定する

ホームページやブログなどへの投稿文の形式で書いたりするなど、場面設定を工夫することで、読み手に対する意識化が図られ、書かれた英文を読んでさらに自分の感想や考えを書くといったインタラクティブな活動となり、4技能をバランスよく育成することが可能となります。

(教材例) Sunshine2 PROGRAM 1 Did You Enjoy Your Vacation?

【単元のゴールの活動】

「連休の思い出」のブログを書き、お互いに紹介し合おう

単元を通した「書く活動」

第1時

先週末したことについて「話すこと（やりとり）」の言語活動をした後に、その内容を書いてまとめる

第2時

要点を把握した後、ウッド先生を主語とした数文の英文で書いてまとめる

第3時

先週末にしたことについて「話すこと（やりとり）」の言語活動をした後に、その内容を書いてまとめる

第4時

要点を把握した後、由紀を主語とした数文の英文で書いてまとめる（リライトイング）

第5時

昨夜のある時点にしていたことについて「話すこと（やりとり）」の言語活動をした後に、その内容を書いてまとめる

第6時

「連休の思い出」のブログを書く

第7時

Title: I went to Iwaizumi.

I visited Ryusendo for the first time. It was very beautiful. I ate Iwaizumi yogurt there. I enjoyed my vacation very much.

Comments:

You had a good time!

Did you take any pictures there?

How was the yogurt? Was it good?

単元テスト
期末テスト

振り返りや評価を通して、自分の変容を実感できるようにすることが大切です。

ゴールのアウトプットに向かった「書く活動」の積み重ね

第1時の「書く活動」例

I went to Kitakami with my family. We saw a lot of cherry blossoms.

Kenji went to Kuji. He ate fresh fish. He had a good time

自分のことや、友達とのやりとりで得た情報を書いてまとめています。



スパイラルに繰り返しながら、ゴールに向かっていきますね。



第7時の「書く活動」例

ブログ形式にすることで、読み手を意識した「書く必然性」のある活動となります。



第7時の家庭学習例

How was the yogurt? Was it good?

→ I ate the yogurt for the first time. It was really good!

「友達のコメントに返事をする」ことが家庭学習ですね。

